

移動等円滑化取組報告書（乗合バス車両）

（令和3年度）

住 所 東京都立川市高松町2丁目27番27号
 事業者名 立川バス株式会社
 代表者名 代表取締役 山田 恭章

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の5の規定に基づき、次のとおり報告します。

I 前年度の移動等円滑化取組計画書の内容の実施状況

(1) 移動等円滑化に関する措置の実施状況

① 乗合バス車両を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる乗合バス車両	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
ノンステップバス	大型ノンステップバス1両、小型ノンステップバス1両を更新、小型ノンステップバスを3両導入する。(2021年度)	事業計画の変更があったが、ノンステップバス大型1両を更新、小型3両を新規導入した。

② 乗合バス車両を使用した役務の提供の方法に関し法第八条第二項及び第三項の主務省令で定める基準を遵守するために必要な措置

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
(1) 設備の維持管理 (2) 運転士教育 (3) 代替手段の確保	(1) ◆整備士が定期点検時に車椅子固定装置、スロープ板等作動に異常がないか確実に点検を行う。 ◆運転士が出庫・入庫時に毎日点検を行う。 (2) 運転士入社時に車椅子の取扱いについて一から教育を行う。 (3) 車両故障・設備故障等の場合に速やかに対応できるように、予備車両を常に使用できる体制を整えておく。 (2021年度)	計画のとおり実施した。

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
乗降の介助・支援	2020年度に全乗務員に配布した「運転士・業務マニュアル」において「車いす使用のお客様の乗降時の対応」について乗車前の準備・乗降時の手順等段階的に写真付きで詳しく表記してあり、全営業所での教育に活用していく。(2021年度)	計画のとおり教育を実施した。

④ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
車内での情報提供	車内運賃表示器等でわかりやすく行先や次停名を案内すると共に、テロップに急ブレーキ時の注意喚起等を流し、より一層車内事故防止の啓発に努める。(2021年度)	計画のとおり実施した。

⑤ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
乗務員の技術向上	教習用バスを乗務員の初任教育や事故惹起教育で活用し、安全のために基本となる操作である制動操作について、車両に搭載された機能(Gセンサー)を使用し車内転倒防止に役立てていく。(2021年度)	計画のとおり実施した。

⑥ 高齢者、障害者等が高齢者障害者等用施設等を円滑に利用するために必要となる適正な配慮についての乗合バス車両の利用者に対する広報活動及び啓発活動

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
車内放送による啓発	車内放送での安全コメントを高齢者含め乗客の皆さまの耳にとまるよう子供の声で放送し、車内での事故防止の啓発に努めることを継続していく。(2021年度)	計画のとおり実施した。

(2) 移動等円滑化の促進を達成するために(1)と併せて講ずべき措置の実施状況

メールや電話で寄せられるお客様からのご意見・ご要望を社内で共有し取組・改善に活用した。

(3) 報告書の公表方法

インターネットの利用(ホームページ掲載)

(4) その他

特になし

II 乗合バス車両の移動等円滑化の達成状況

(令和4年3月31日現在)

	総車両数	公共交通移動等円滑化基準省令に適合した車両数					公共交通移動等円滑化基準省令に適合していない車両数							
		計	ノンステップバスの車両数	ワンステップバスの車両数	その他の車両数		計	基準適用除外認定車両数		その他の車両数				
					計	スロープ板を備えたもの		リフトを備えたもの	計	うちスロープ板を備えたもの	うちリフトを備えたもの	計	うちスロープ板を備えたもの	うちリフトを備えたもの
前年度車両数	228	215	202	13			13	13		1	0			
年度内に供用を開始した車両数	4	4	4											
年度内に供用を廃止した車両数	6	6	6											
年度末車両数	226	213	200	13			13	13		1	0	0	0	

III 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行規則第6条の2で定める要件に関する事項

(1) 過去3年度における1年度当たりの平均の輸送人員が1000万人以上である。	○
(2) 過去3年度における1年度当たりの平均の輸送人員が100万人以上1000万人未満であり、かつ、以下のいずれかに該当する。 ①中小企業者でない。 ②大企業者である公共交通事業者等が自社の株式を50%以上所有しているか、又は自社に対し50%以上出資している中小企業者である。	

(第6号様式)

- 注1. 公共交通移動等円滑化基準省令に適合した車両数の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令の全ての基準に適合している車両の合計数を記入すること。
2. ノンステップバスの車両数の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令の全ての基準に適合しているノンステップバス車両の合計数を記入すること。
3. ワンステップバスの車両数の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令の全ての基準に適合しているワンステップバス車両の合計数を記入すること。
4. 公共交通移動等円滑化基準省令に適合した車両数のうちその他の車両数の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令に適合している車両のうち2及び3に該当しない車両の合計数のほか、公共交通移動等円滑化基準省令第37条第2項第2号の基準に適合するスロープ板その他の車椅子使用者の乗降を円滑にする設備について、スロープ板を備えたもの、リフトを備えたものの別にその車両数を記入すること。
5. 基準適用除外認定車両数の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令第43条第1項の認定を受けている車両の合計数のほか、そのうちスロープ板を備えているものの車両数、リフトを備えているものの車両数を記入すること。
6. 公共交通移動等円滑化基準省令に適合していない車両数のうちその他の車両数の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令に適合していない車両のうち5に該当しない車両の合計数のほか、そのうちスロープ板を備えているものの車両数、リフトを備えているものの車両数を記入すること。
7. IIIについては、該当する場合には右の欄に○印を記入すること。
8. 「中小企業者」とは、資本金の額が3億円以下又は従業員数が300人以下である民間事業者を指す。
9. 「大企業者」とは、中小企業者以外の民間事業者を指す。